



®環境省

エコアクション21
認証・登録番号0004309

環境活動レポート2025年

2025年1月1日～2025年12月31日



未来の子供たちへ、安心した環境を

株式会社 橋脇商店 本社

発行日 2026.2.3

改定発行日 2026.2.27

目次

目次	1
環境経営方針	2
2025年環境経営目標	3
会社概要	4
EA21EMS事務局・組織図	5
事業概要	6~8
環境活動計画	9
環境活動の評価・次年度の取り組み	10
環境経営目標の実績	11
環境経営目標の評価	12
環境関連の法規制	13
環境関連法規制違反・訴訟等の有無	13
代表者による評価と見直し	14

環境経営方針

基本理念

株式会社橋脇商店は、環境への責任を問われる時代に【環境にやさしい処理方法】を経営理念とし、産業廃棄物収集運搬業【運搬車両の二酸化炭素の削減活動】、非鉄金属卸売業【資源の分別リサイクルの向上】及び建築物清掃業の企業活動を行います。

基本方針

当社は、環境関連法規制等の遵守、継続的改善、環境負荷の軽減、環境コミュニケーションを柱とします。

具体的には

- 1 環境関連法規制及びスライクホルダーとの同意事項を厳守する。
- 2 環境マネジメントシステムの継続的改善を行います。
- 3 排出元事業者へ廃棄物の分別指導を行い廃棄物の減量、リサイクル率向上を図る。
- 4 最新の公害防止技術・環境保全技術の導入に努める。
- 5 収集運搬車両等の運搬ルートの確立（安全で運距離の削減）しエコドライブを実施し、省エネと排気ガスの抑制に取り組む。
- 6 行政及び地域住民との環境コミュニケーションに努める。
- 7 地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努める。

平成 20 年 2 月 1 日 制定

令和 4 年 12 月 15 日 改訂

株式会社橋脇商店

代表取締役 

2025年環境経営目標

作成日 2025年1月6日

対象年月日 2025年1月1日～12月31日

承認者	作成者
橋脇英行	古山武志

目標の設定（中長期）

※2022年東北電力排出係数 0.496kg-CO₂/kWh

No	環境目標項目	基準年	増減率	中長期目標（3年）		
		2024年実績 （1～12月）	年率%	2025年目標 （1～12月）	2026年目標 （1～12月）	2027年目標 （1～12月）
1	二酸化炭素排出量	133,079	0.5	132,414	131,752	131,093
2	廃棄物排出量	139	0.5	138	138	137
3	総排水量	244	0.5	243	242	240
4	グリーン購入	エコマーク商品の優先的購入				
5	本業環境負荷の低減（収集運搬）	エコ運転の徹底、収集運搬ルートの確認（最短距離） NO1の燃料の低減				

※目標の設定（中長期）は、前年度の実績をもとに設定するので毎年度変更する。

環境目標の設定（2025年目標）

※2022年東北電力排出係数 0.496kg-CO₂/kWh

No	環境目標項目	2024年実績	増減率%	2025年目標
1	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	133,079	0.5	132,414
	(1)電力使用量(kWh/年)	79,879	0.5	79,480
	(2)灯油使用量(L/年)	1,000	0.5	995
	(3)LGP使用量(kg/年)	—	—	—
	(4)ガソリン使用量(L/年)	7,299	0.5	7,262
	(5)軽油使用量(L/年)	28,696	0.5	28,552
2	廃棄物排出量(kg/年)	139	0.5	138
3	総排水量(m ³ /年)	244	0.5	243
4	グリーン購入の推進(%)	95%維持		
5	本業環境配慮 （収集運搬）	エコ運転の徹底、収集運搬ルートの確認（最短距離） NO1の燃料の低減		

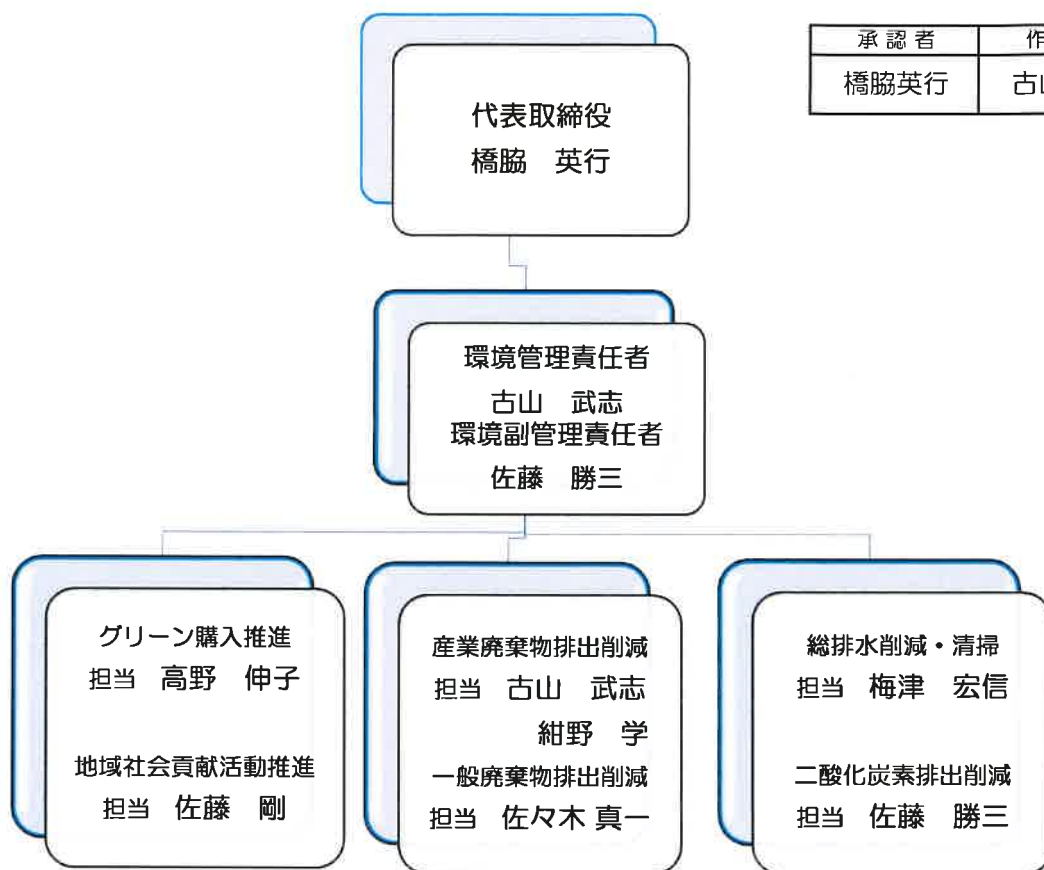
会 社 概 要

事業者名	株式会社 橋脇商店 本社
代表取締役	橋脇 英行
所在地	福島県福島市平石字新田85番地の1
法人設立年月日	1987年（昭和53年）4月
事業内容	非鉄原料再生原料卸売 (被覆線ナゲット加工) 産業廃棄物収集運搬・特別管理産業廃棄物収集運搬・一般廃棄物収集運搬 一般建設業（とび・土工工事業）（解体工事業） 建築物清掃業 第一種フロン類充填回収業者
環境関係担当者の連絡先	環境管理責任者 工場長 古山 武志 担 当 者 工場長 古山 武志 連 絡 先 TEL 024-546-1830 FAX 024-546-1807 E-mail furuyama@hashiwaki.com
事業所の規模	資本金 1,000万円 従業員数 9名 事業所面積 138.35㎡ 敷地面積 8,559.8㎡ 売上高 区分A 5億円未満
エコアクション21対象範囲	株式会社 橋脇商店 本社

EA21EMS事務局 組織図

改定日 2025年12月20日

承認者	作成者
橋脇英行	古山武志



各自の活動内容

代表者・・・環境方針,目標の決定及び活動内容の見直し改善

環境管理責任者・・・活動計画の設定及びデータのとりまとめ

グリーン購入推進担当者・・・・ エコマーク商品の購入

地域社会貢献活動推進担当者・・・ 地域の不法投棄廃棄物を回収処理活動
除雪活動

廃棄物排出削減担当者・・・・ 廃棄物を分別し、資源としてリサイクル・コピー用紙の両面使用

総排水削減・清掃担当者・・・ 洗車用水の節水・社員へ節水運動を社員へ促進・5Sの徹底

二酸化炭素排出削減担当者・・・ 昼休み時間の消灯・冷暖房温度の基準（冷房28℃・暖房20℃）の管理
エコ運転活動

※上記活動内容を各担当者が各社員に伝え活動を行う

事業概要

1 許可・認定・登録

廃棄物に関する許可

	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の範囲	
				事業の区分	産業廃棄物の種類
1	第00701025752号	R1.11.1	R11.10.31	福島県 産業廃棄物収集運搬業	①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪⑫
2	第00751025752号	R5.10.17	R10.10.16	福島県特別管理 産業廃棄物収集運搬業	廃石綿等
3	第56号	R4.7.1	R8.6.30	福島市 一般廃棄物収集運搬業 (ごみ)	一般廃棄物 可燃・不燃
4	第4-6号	R4.11.27	R8.11.26	伊達市 一般廃棄物収集運搬業 (ごみ)	一般廃棄物 可燃・不燃
産業 廃棄物 の 種類	① 燃え殻	② 汚泥	③ 廃油	④ 廃アルカリ	
	⑤ 廃プラスチック類	⑥ 紙くず	⑦ 木くず	⑧ 繊維くず	
	⑨ 動植物性残さ	⑩ 金属くず			
	⑪ ガラスくず、コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず				
	⑫ がれき類	(これらのうち、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、 自動車等破砕物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)			

非鉄金属に関する認定

	認定番号	認定年月日	有効年月日	事業の区分	非鉄金属の種類
1	第NO7K-00701号	R3.7.21	R9.7.21	再生資源回収業	金属類・古紙類 古繊維類・びんカレット
2				再生資源回収業	

清掃に関する登録

	認定番号	認定年月日	有効年月日	事業の区分	業務の種類
1	福島県16清第86号	R4.6.22	R10.6.21	建築物清掃業	建築物内外清掃

一般建設業に関する登録

	認定番号	認定年月日	有効年月日	事業の区分	業務の種類
1	福島県知事許可 (般-31) 第28756号	H31.5.15	R11.5.14	一般建築業許可	とび・土工事業
2	福島県知事登録 (登-3) 第1096号	R3.5.14	R8.5.13	解体工事業	解体工事業

フロンに関する登録

	認定番号	認定年月日	有効年月日	事業の区分	業務の種類
1	07110039	R3.10.20	R8.10.17	第一種フロン類 充填回収	第一種フロン類充填回収

2 運搬車両の種類と台数

1	4tトラック	平ボディー	1台
2	4t・大型ユニック車	平ボディー(クレーン付)	2台
3	4tパッカー車	塵芥車(圧縮板式)	1台
4	4tトラック	アームロール車	2台

3 処理実績 対象年月日 2025年1月1日～12月31日

1	産業廃棄物収集運搬量	199.07 t/年
内訳	木くず	49.09 t/年
	廃プラスチック類	148.99 t/年
2	特別産業廃棄物収集運搬量 (廃石綿等)	0.99 t/年
3	一般収集運搬量	91.05 t/年

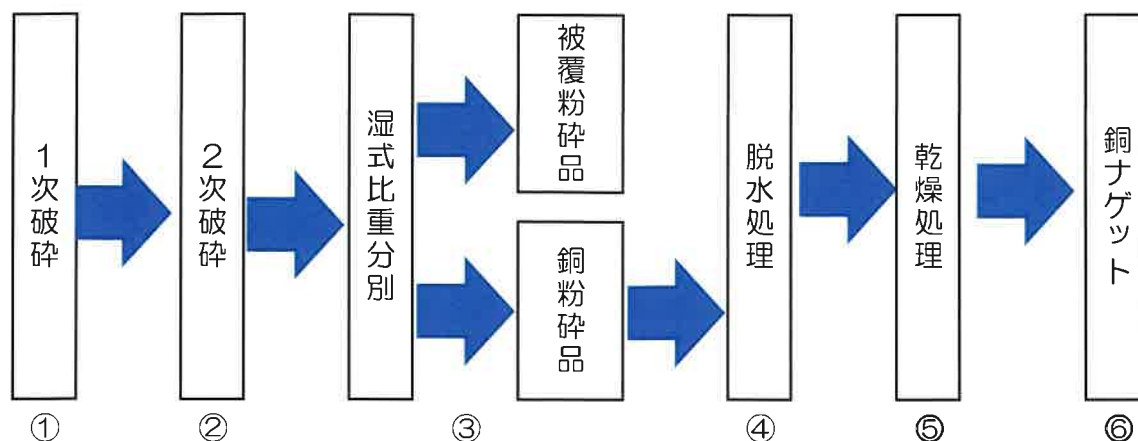
4 再生資源の受入量・売却量 対象年月日 2025年1月1日～12月31日

1	鉄くず	262,655 kg/年
2	紙くず	180,860 kg/年
3	非鉄くず(銅)	32,478 kg/年
	ナゲット量	31,200 kg/年
4	非鉄くず(アルミ)	451,243 kg/年
5	非鉄くず(その他)	128,316 kg/年

5 清掃受注件数

15 社

ナゲット加工リサイクルフロー



① 1次破碎機（被覆線を投入）荒粉砕

↓

② 2次破碎機（1次破碎機からコンベアラインで自動投入）約1～5mm^h粉砕

↓

③ 湿式比重分別機（2次破碎機からフロー式搬送ラインで自動投入）被覆（プラ）・銅に自動分別
 ※分別後の被覆は専用BOXへコンベアラインで投入

↓

④ 脱水機（銅の水分を除去）

↓

⑤ 乾燥機（脱水後の銅を熱風「キルン式」乾燥）

↓

⑥ ナゲット完成（自動搬送きで容器[フレコンバック又はドラム缶]に投入）

分別後



銅ナゲット



銅線被覆粉砕品

2025年環境活動計画

2025.12月20日改定

承認者	作成者
橋脇英行	古山武志

環境目標	活動・取組項目	担当者	活動の具体的内容	実施時期
	何を	誰が	どのように	いつまでに
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	古山	不要照明の消灯	通年
		佐藤(勝)	照明機具の改善(不要な蛍光灯を外す)	通年
		高野	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
		佐藤(勝)	冷暖房の温度管理	通年
		古山	冷暖房機器清掃	通年
		古山	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	8・12月
二酸化炭素排出量の削減	エコ運転の実施	紺野	エコドライブ教育研修	通年
		佐藤(剛)	アイドリング時間の削減	通年
		古山	急発進、急加速はしない	通年
		梅津	タイヤの空気圧を定期的に調節する	通年
		梅津	燃費管理の実践	偶数月
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底	佐々木	分別の徹底	通年
		佐々木	分別方法をわかりやすく掲示	通年
		佐々木	廃棄物置場の整理	通年
	紙使用の削減	古山	書類のデータ化PDFシメール使用	通年
		高野	OA紙の再資源化	通年
		紺野	書類の電子保存	通年
総排水量の削減	水量使用量の削減	佐藤(剛)	洗車時・手洗い時の節水	通年
		梅津	水の強さを調節(給水栓を絞る)	通年
		佐藤(勝)	こまめに水を止める	通年
		梅津	利用目的に応じた効率的な使用	通年
グリーン購入	グリーン商品の購入	高野	グリーン購入のリストアップ	4月
		高野	エコマーク商品の優先的購入	通年
環境配慮	再資源化率向上	紺野	再資源化できる中間処理業者への収集運搬	通年
		佐藤(剛)	収集運搬業の分別収集の徹底	通年
	資源の有効利用	紺野	リサイクル品の活用	通年
地域貢献	地域・社会貢献活動	古山	地域清掃活動への参加	8月
		佐藤(剛)	全社員が家庭で節電・節水ゴミの分別を実施する	通年

2025年環境活動計画の評価と次年度の取り組み

対象年月日 2025年1月1日～12月31日

評価：○実施済、△一部実施、×未実施

環境目標		環境活動計画	結果	評価	次年度の取り組み
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	不要照明の消灯	電気使用量は前年より削減できた。継続して取り組みを行う。	○	継続する 照明器具がLEDに変更になっていない箇所の照明器具の交換を検討する。
		照明機具の改善(不要な蛍光灯を外す)			
		OA機器・家電製品の待機電力の削減			
		冷暖房の温度管理			
		冷暖房機器清掃			
		各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)			
廃棄物排出量の削減	エコ運転の実施	エコドライブ教育研修	軽油使用量が下がっている。運搬業務内容が変わった。ガソリンの使用料はハイブリット車購入で削減できた。	○	継続する 効率の良い配車スケジュール管理に努める。車両買替えに当たっては低燃費車両(アイドリングストップ車、ハイブリット車)への切替えを図る。
		アイドリング時間の削減			
		急発進、急加速はしない			
		タイヤの空気圧を定期的に調節する			
		燃費管理の実践			
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底ができ、再資源化ができた。	○	継続する
		分別方法をわかりやすく掲示			
		廃棄物置場の整理			
	紙使用の削減	コピー数量の削減	コピー用紙の削減、裏紙の使用など紙使用の削減が出来た。	○	継続する
		OA紙の再資源化			
		ペーパーレス化の推進			
総排水量の削減	水道使用量の削減	洗車時・手洗い時の節水	水使用量は削減できている。近隣2軒と共同使用のため、正確な使用数量が把握できないが、節水に努める。	○	継続する
		水の強さを調節(給水栓を絞る)			
		こまめに水を止める			
		利用目的に応じた効率的な使用			
グリーン購入	グリーン商品の購入	グリーン購入のリストアップ	事務用品などグリーン購入できるものは、積極的に購入できた。	○	継続する
		エコマーク商品の優先的購入			
環境配慮	再資源化率向上	再資源化できる中間処理業者への収集運搬	分別収集の徹底、持込み顧客への分別指導ができた。運搬ルートの見直しで最短距離での作業ができた。	○	継続する
		収集運搬業の分別収集の徹底			
	収集運搬車両燃料削減	運搬ルートの確認、アイドリングストップ			
地域社会貢献	地域・社会貢献活動	地域社会貢献活動	2023年8月に社員全員で地域社会貢献活動が出来た。	○	継続する
		全社員が家庭で節電・節水ゴミの分別を実施する			
		地域イベントの積極的参加			

2025年環境経営目標の実績

No	環境目標項目	2024年実績(a)	増減率%	2025年目標(b)	2025年実績(c)	増減率% (a-c)/×100	達成率% b/c×100
1	二酸化炭素(kg-CO ₂ /年)	133,079	0.5	132,414	132,708	0.3	99.8
	(1)電力使用量(kWh/年)	79,879	0.5	79,480	79,462	0.5	100.0
	(2)灯油使用量(L/年)	1,000	0.5	995	1,000	0.0	99.5
	(3)LGP使用量(kg/年)	—	—	—	—	—	—
	(4)ガソリン使用量(L/年)	7,299	0.5	7,262	7,265	0.5	100.0
	(5)軽油使用量(L/年)	28,696	0.5	28,552	28,663	0.1	99.6
2	廃棄物排出量(kg/年)	139	0.5	134	130	6.5	103.1
3	水使用量(m ³ /年)	244	0.5	239	237	2.9	100.8
4	グリーン購入の推進(%)	95%維持					
5	本業環境配慮(収集運搬)	エコ運転の徹底、収集運搬ルートの確認(最短距離)見直しNO1の燃料の低減の継続ができた。					

実績の内容

1	(1) 構内(屋外)照明のタイマーでの管理。(2) 暖冬の暖房機の使用率が減った。
	(4)・(5) ハイブリッド車の購入、冬季時の暖気時間の短縮。
2	紙くずの分別でリサイクル化ができた。
3	車両洗車を高圧洗浄機を使用した事でレバー操作で水の使用制限の継続ができた。
4	グリーン購入に配慮した購入が出来た。
5	収集運搬ルートの見直しで運搬距離が減った事及びアイドリングストップ車両を使用。

2025年環境経営目標の評価

対象年月日 2025年1月1日～12月31日

※基準年2024年

重点推進課題	増減率 (%)		3月	6月	9月	12月 (2024年全額)	
1. 二酸化炭素の排出削減	0.5 %	目標値	33,104	66,207	99,311	132,414	
		結果	34,408	66,440	98,655	132,708	
		達成率(%)	96 %	100 %	101 %	100 %	
		評価	○	◎	◎	○	
	(1) 電力使用量 (kWh/年)	0.5 %	目標値	19,870	39,740	59,610	79,480
			結果	19,498	39,142	59,396	79,462
			達成率(%)	102 %	102 %	100 %	100 %
			評価	◎	◎	◎	◎
	(2) 灯油(L/年)	0.5 %	目標値	600	-	-	995
			結果	600	-	-	1,000
			達成率(%)	100 %			100 %
			評価	◎			○
	(3) ガソリン (L/年)	0.5 %	目標値	1,815	3,630	5,446	7,262
			結果	1,887	3,603	5,368	7,265
			達成率(%)	96 %	101 %	101 %	100 %
			評価	◎	◎	◎	○
(4) 軽油(L/年)	0.5 %	目標値	7,138	14,276	21,414	28,552	
		結果	7,312	14,408	21,419	28,663	
		達成率(%)	98 %	99 %	100 %	100 %	
		評価	○	○	○	○	
2. 水使用の削減(m ³ /年)	0.5 %	目標値	60	119	179	239	
		結果	55	112	175	237	
		達成率(%)	109 %	106 %	102 %	101 %	
		評価	◎	◎	◎	◎	
3. 廃棄物排出量の削減 (kg/年)	0.5 %	目標値	34	67	100	134	
		結果	30	60	90	130	
		達成率(%)	113 %	112 %	111 %	103 %	
		評価	◎	◎	◎	◎	
4. グリーン購入の推進	グリーン購入95%維持が出来た。						
5. 本業の環境配慮	再資源化向上率	分別収集の徹底、持込み顧客の分別のお願い(指導)、運搬車両のアイドリングストップ車2台使用及び冬季時の暖気時間を短くすることができた。					
7. 地域貢献活動	年1回実施	8月に活動できた。					

目標達成100%以上：◎ 目標達成90%～100%：○ 目標達成70%～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

環境関連の法規制

2025年12月27日

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	法令等の適用を受ける施設・行為の詳細（確認日）	遵守状況
廃棄物処理法 一般廃棄物収集運搬業	第7条1項・2項・第7条の二1・3項 一般廃棄物収集運搬許可申請変更届出	許可申請・変更届出・記録 確認日 2025年6月27日	適合
産業廃棄物収集運搬業	第7条15項16項 帳簿の記載・保存	帳簿の記載・保存 確認日 2025年10月18日	適合
	第12条の3 産業廃棄物管理票の交付	産業廃棄物管理票の送付・回付・保管 確認日 2025年10月18日	適合
	第14条・第14条の2 産業廃棄物処理業の許可・変更許可	許可申請・変更許可申請(収集運搬・中間処理)・変更届出等の遵守 確認日 2025年10月18日	適合
	施行令第6条 収集運搬車の表示等	運搬車の車体両外側に産業廃棄物運搬車である表示と車内に書面を備え付けておくこと 確認日 2025年10月18日	適合
	台帳の保管・再委託の禁止 マニフェストの携帯義務	台帳の保管・再委託の禁止 マニフェストの携帯義務 確認日 2025年10月18日	適合
特別管理産業廃棄物収集運搬業 (廃石綿等)	第14条の4・第14条の5 特別管理産業廃棄物処理業の許可・変更	許可申請・変更の許可・届出 確認日 2025年10月18日	適合
	第14条の4第12項 特別管理産業廃棄物処理基準	飛散流出しないこと、騒音等環境保全人の健康保持、生活環境の保全他のものと区分して収集運搬種類等記載文書の携帯 運搬車に表示、許可証、管理表の携帯 確認日 2025年10月18日	適合
特定再生資源物の屋外保管事業所	福島県条例第1章第1条～第6条	保管場所のが外壁及び排水経路の油水分離槽の点検清掃 確認日 2025年12月27日	適合
家電リサイクル法	ルームエアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の廃棄基準	家電リサイクル対象品処分の際は、家電リサイクル券購入し指定受け入れ先に持込 確認日 2025年12月27日	適合
水質汚濁防止法	第14条の2 貯油施設令第3条の4軽油・灯油事故により生活環境に被害が発生する恐れがある時	軽油保管施設の流出防止対策・通報体制の確立 灯油198ℓまでの保管 応急処置・知事へ届け出 確認日 2026年3月5日	不適合
福島市火災予防条例	少量危険物の保管(ガソリン・灯油)	火災防止対策・流出防止対策の遵守 確認日 2025年11月8日	適合
騒音規制法	第22条の2 敷地境界線での規制値	指定地域になっていないが基準値以下。データの保管 確認日 2025年11月8日	適合
フロン排出抑制法（設備使用）	業務用エアコン1.8kW	機器の設置・使用環境の適正化 機器の簡易点検（1回/3ヶ月以上） 機器の点検漏えい・故障確認時の専門点検記録の保存（機器廃棄まで） 確認日 2025年12月27日	適合
フロン排出抑制法 フロン類の使用合理化及び管理の適正化に関する法律 第一種フロン類充填回収業	第27条・30条・31条・39条・44条 45条・46条 第1種フロン充填回収業	第一種フロン類充填回収業者の登録・フロン類の引取り、引渡し義務・充填基準・運搬基準、重鎮証明書・回収証明書の交付、情報処理センターの活用、業務の記録・報告等、フロン類の破壊証明の回付・保存 確認日 2025年12月27日	適合

環境関連法規制違反・訴訟等の有無

環境法令の違反、関係当局より違反等の指摘もありません。遵守状況のチェックの結果も問題ありませんでした。訴訟や苦情等の指摘もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

承認 代表取締役 橋脇英行

作成日 2025年1月27日 作成者 古山武志

評価対象期間 2025年1月1日～12月31日

No	項目	評価・指示事項
1	環境項目の達成状況	運搬車両の入替で燃費削減装置(アイドリングストップ)の付いた車両購入(ハイブリット車)で燃料使用量が減った。
2	環境活動計画の実施状況	社員の環境に対する意識が向上している。
3	是正及び予防処置	環境目標の設定を考える。
4	環境法規制の順守状況	関連法規の遵守はできているので、今後も続けていくこと。
5	環境コミュニケーションの状況	苦情等はなかったため、今後も取り組みを継続していくこと。
6	緊急事態への対応	定期訓練を基本に、各自緊急事態の対応ができるよう常に心掛けを継続すること。
7	本業における環境配慮	お客様(排出業者)へ廃棄品の分別指導を行い資源の有効利用に努め、収集運搬ルート of 最短距離(安全も配慮)での運搬を継続することの継続する。

代表者の指示事項

No	項目	変更の有無		指示内容
		あり	なし	
1	環境経営方針		○	継続して取組むこと。
2	環境経営目標	○		削減率の見直した数値への活動していく。
3	環境経営活動計画		○	継続して取組むこと。
4	環境経営システム(PDCAサイクル)が有効に機能しているか		○	全員が役割分担し、PDCAを行って活動している。
5	代表者による全体の評価と見直し		○	環境負荷の低減・削減の意識を高め継続して続けること。
6	その他指示事項	○		中長期目標時に2024年集計に変更ができていた。2026年は2025年集計で作成すること。
7	次年度の取組内容		○	2017年版エコアクション21ガイドラインに準拠した教育及び活動を行うこと。